

耐震性貯水槽の設置場所



設置場所の看板に沿って進んでいくと、器具庫と書かれたプレハブが見えるよ。その手前の地下に耐震性貯水槽が埋まっているんだ。マンホールを探してね。

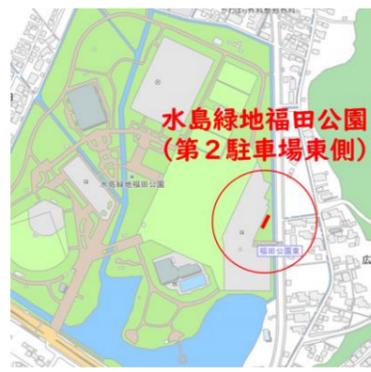


(例) 倉敷運動公園に設置された看板と器具庫

耐震性貯水槽の設置場所(詳細地図)



倉敷地区
倉敷運動公園



水島地区
水島緑地福田公園



児島地区
中山運動公園



玉島地区
新倉敷駅南公園



真備地区
マービーふれあいセンター

設置場所はここからも確認できるよ!



お問い合わせ先
倉敷市水道局水道総務課
☎ 426-3655



耐震性貯水槽についての動画は、こちらで!

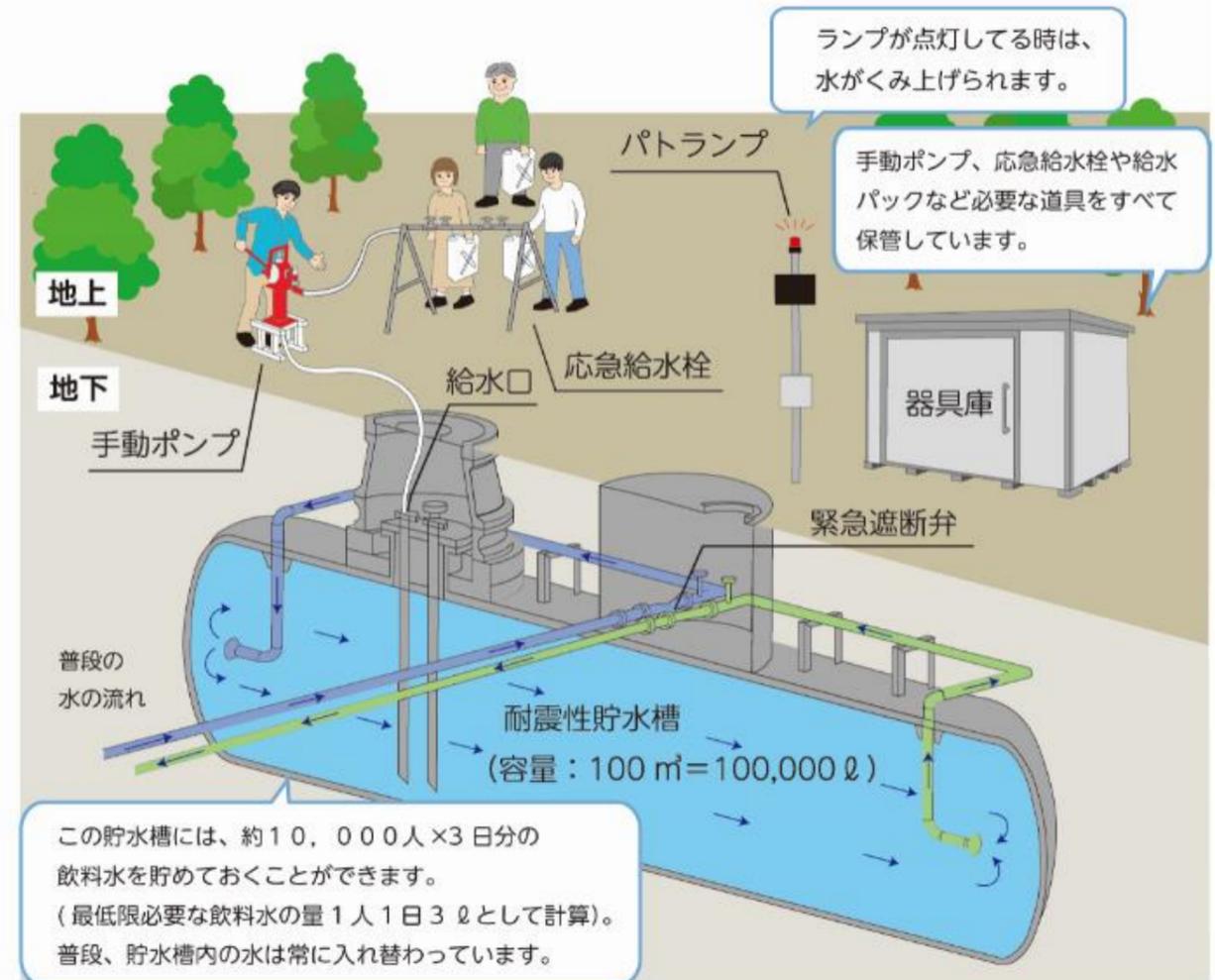


YouTubeでは「倉敷市耐震性貯水槽」で検索してね。

常設型の応急給水拠点

耐震性貯水槽

を設置しています。



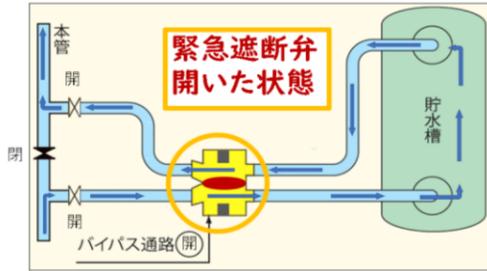
●耐震性貯水槽には100m³(約10,000人×3日分)の飲料水を貯めることができます。

●災害時、道路が寸断されるなどして水道局の職員が現場に行けない場合があります。**地域の皆様**での**給水作業**にご協力をお願いします。



耐震性貯水槽の仕組み

普段の水の流れ



耐震性貯水槽は、水道本管とつながっていて、普段は水道管の一部なんだ。本管から貯水槽を通して、また本管に戻っていくから、貯水槽内の水は、いつも新鮮！！

非常時の水の流れ



地震などによる水圧低下を感知すると、緊急遮断弁が作動し、独立した貯水槽となる仕組みだよ。



緊急遮断弁が閉じたらパトランプが点灯して、耐震性貯水槽内の水が使えるようになるんだ。

よくある質問Q&A

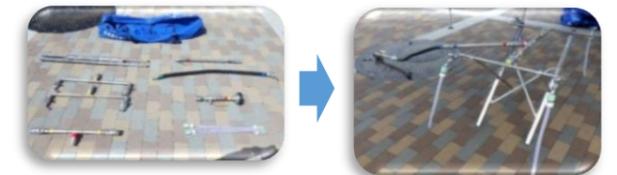
- Q1 応急給水栓などの組み立て、接続はだれでもできますか？
- A1 器具庫の中に手順を示した写真入りマニュアルが入っています。応急給水栓などの接続部分は同じ色のテープで印がついています。
- Q2 給水パックはどのくらいあるの？
- A2 約10,000枚保管しています。(1袋に6リットル入ります。)
- Q3 器具庫のカギは誰が管理していますか？
- A3 断水が起きた時、カギを持った人が近くにいなくても使用できるようにカギはダイヤル式になっており、地元町内会にお知らせしています。
- Q4 災害に対してどれぐらいの耐久性があるのですか？
- A4 東日本大震災時震度6弱以上の地域に設置されていた耐震性貯水槽が、機能を維持していた実績があります。
- Q5 停電の時や夜でも使えますか？
- A5 停電時でも、緊急遮断弁が水圧低下を感知して、水を確保できる仕組みになっています。パトライトはソーラーパネルにより充電されたバッテリーにより作動するようになっています。また、ランタンやライトも器具庫に置いてあるので夜間でも使えます。



耐震性貯水槽の使用手順

- ① 器具庫からマニュアルと工具を取り出す
- ② マンホール・給水口・給水口バルブを開ける
- ③ 応急給水栓の組み立て
- ④ 手動ポンプの準備
- ⑤ 水質検査
- ⑥ 給水作業

マニュアル



これより濃いピンクが飲料水に適している目安だよ。

手動ポンプで給水する様子



災害が発生しパトランプが点灯すると、器具庫にある手動ポンプ、応急給水栓などを使い、市民の皆様が自ら水をくみ上げて給水できます。

作業はとても簡単!!
詳しくは **マニュアル** か動画を
観てね。



使用手順動画